

# 磐田J.C

[静岡県]

## 現役とシニアの融和を 常に考え地域に貢献

**日** 本のサッカーJリーグが始まる前までは私達の市(街)の名前は殆ど知られておりませんでした。が、「ジュビロ磐田」が誕生して優勝して華々しい活躍が広まるに連れて「磐田市」が全国版となって参りました。

この街、正式には静岡県磐田市、南は遠州灘(太平洋)、北に赤石山脈、西・東は平野地で、合併により人口約18万人の市となりました。ヤマハ・ヤマハ発動機・スズキ自動車等々、世界にその名も知れた会社や工場、又その協力会社がこの市の産業を作っています。

またJ.R東海道本線・新幹線・東名高速道路・第二東名高速道路も市内を通り、たいへん交通の便も良くまさに東海道ベルト地帯であります。

(社)磐田青年会議所は1964年(昭和39年)に276番目の青年会

議所として(社)浜松青年会議所のお力で生まれました。農業・工業・商業が大変バランス良く成り立ち、安定した経済基盤の中の青年会議所として市民と協力し合い数々の事業を展開してきました。その中でも特筆すべき事業として市民200名出演の手作りミュージカルを開催したことがあります。これは長野県駒ヶ根市と民話を元に姉妹都市の提携後、JC間における友好の絆を深めた「ミュージカル早太郎物語」であります。

す。駒ヶ根市にある光前寺の犬が磐田市(見付)の民を救ってくれた物語で、磐田市内天神社に早太郎が祀られております。

この事業により磐田青年会議所の「英知と勇気と情熱」を市民の皆様理解され、その後の事業に於いても数々の御協力、御支援を頂いて成長して参りました。

また国際的には日本J.C国際平和賞を受賞した事業として、大韓民国ソウル青年会議所との合同事業として韓国国内に於ける「無医村歯科診療」であります。韓国内の田舎、所によっては電気も水道も無い過疎の村々へソウル市内から6時間以上もかけて出掛け、村の子供達全員をそれぞれお年寄りまで診療した事業であります。

1972年(昭和47年)に第1回を行い、お医者さん、助手そして薬や医療器具などの運搬、使用の数々

の壁を乗り越えて隣国の子供達の「歯」の健康の為の事業を行いました。これは5年間続き、もう一度10年目に記念の歯科診療を行い6回実施しました。

この事業を元にシニアクラブでは韓国ソウルJ.C特友会(シニアクラブ)との友好関係を37年間続けております。現役メンバーは姉妹提携も結び毎年交流をしております。

また、前記の長野県駒ヶ根J.Cとの交流も新たに始まり、若い時に培った友情が益々深まる展開をしております。

現役との繋がりと、シニアメンバーの融和を常に考え、地域の皆様への感謝を忘れずに邁進しております。

磐田J.Cシニアクラブ 顧問 牧野周一  
日本J.Cシニア・クラブ 静岡ブロック担当幹事 前嶋優吾



賀詞交歓会  
(社)磐田青年会議所賀詞交歓会シニアクラブ大津会長挨拶



ソウル青年会議所特友会との交流会(ソウルにて)



駒ヶ根青年会議所シニアクラブとの交流会



ソウル青年会議所特友会との交流会式典(ソウルにて)